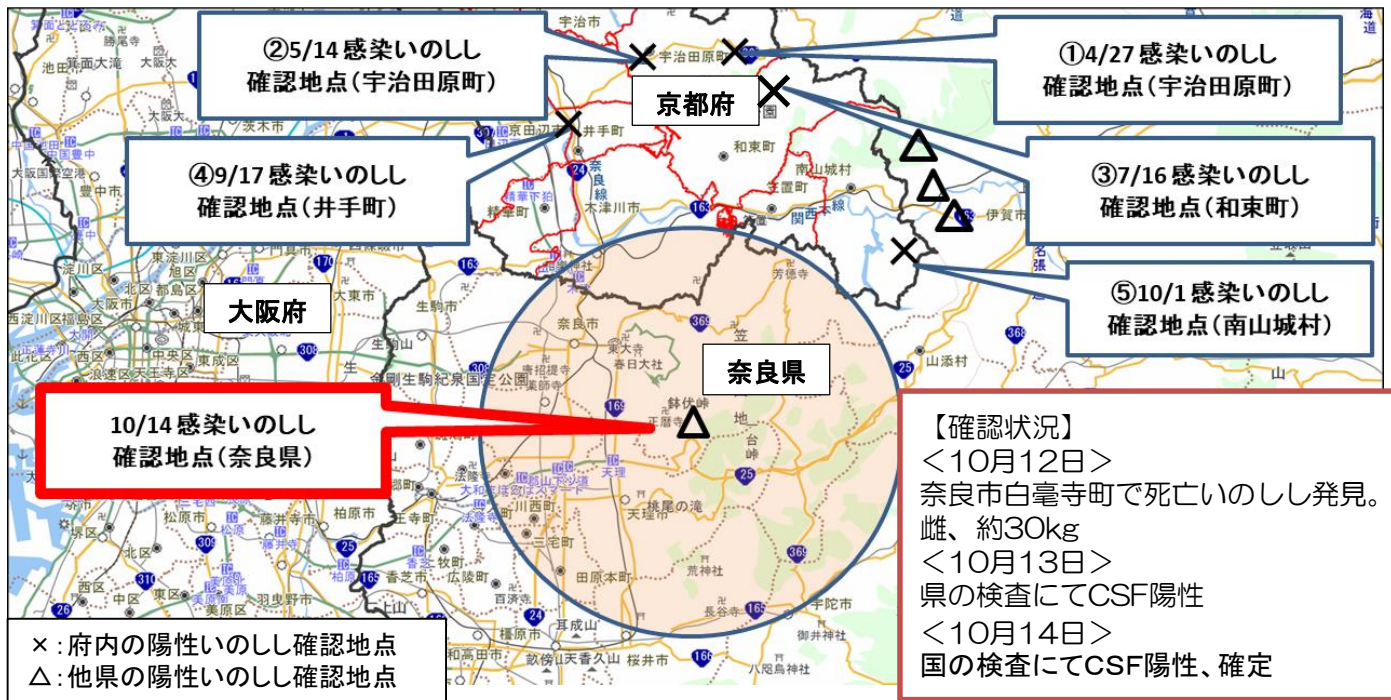


奈良県の死亡野生いのししから CSF(豚熱)ウイルスを確認！(奈良県初)

10月12日に奈良県奈良市内で死亡していた野生いのししから、CSF(豚熱)ウイルスが確認されました。奈良県では初めての確認です！

現在、CSF陽性いのしし確認地点から半径10km圏に含まれる地域は次のとおりです。(城陽市、京田辺市、宇治田原町、井手町、和束町、笠置町、南山城村全域。宇治市、木津川市、精華町のほぼ全域、京都市、八幡市、久御山町の一部)

飼育施設への部外者の立入制限と車両・靴等の消毒、施設周辺への石灰散布等による消毒やネズミ駆除、野生動物の侵入防止などの衛生対策を強化してください。



- ▶ 毎日の健康観察と異常家畜（耳・下腹部・四肢の紫斑、結膜炎、複数頭の40℃以上の発熱、便秘又は下痢、食欲不振など）の早期発見・早期通報をお願いします。
- ▶ 豚熱の発生を防止するためには、人や物を始め野生動物などによって飼育環境にウイルスが持ち込まれないことが重要です。

- 出入りする車両や飼育施設周辺の消毒の徹底
 - 飼養衛生管理区域専用の衣服・長靴の着用
 - いのしし、ねずみなどの野生動物の侵入や接触の防止
 - 肉及び肉製品が含まれている可能性のある飼料の加熱給与
(攪拌しながら90℃以上60分以上又はこれと同等以上)
- ※ 攪拌しながら90℃で60分以上、又は95℃で19分以上、100℃で6分以上

- CSFは、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。
- CSFにかかった豚の肉が市場に出回ることはありません。